

## 点検・評価の結果

政府統計コード	00500213
基幹・一般の別(選択記入)	特定一般統計調査
調査の名称	漁業構造動態調査
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択(複数選択可)	<input type="radio"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="radio"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="radio"/> 月例経済報告に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計の作成に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="radio"/> その他(男女共同参画白書の分析等として利用)
特記事項	

### ① 調査計画との整合性確保等の観点

<p>調査計画との整合性 (整合している場合チェック)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☑ 1.調査の目的</li> <li>☑ 2.調査対象の範囲 ※</li> <li>☑ 3.報告者数等※ <span style="float: right;">{ 報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等 }</span></li> <li>☑ 4.報告事項とその基準期日 ※ <span style="float: right;">{ 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間 }</span></li> <li>☑ 5.報告の方法 ※ <span style="float: right;">{ 報告を求めるために用いる方法 }</span></li> <li>☑ 6.報告を求める期間 ※</li> <li>☑ 7.集計事項 ※</li> <li>☑ 8.結果の公表方法及び期日 ※ <span style="float: right;">{ 調査結果の公表の方法及び期日 }</span></li> <li>☑ 9.使用する統計基準</li> <li>☑ 10.調査票情報の保存 <span style="float: right;">{ 調査票情報の保存期間及び保存責任者 }</span></li> <li>☑ 11.立入検査 <span style="float: right;">{ 基幹統計調査のみ }</span></li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 20px; text-align: center;"> <p><b>全項目整合</b></p> </div>
-------------------------------------	---	---

(注1)「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施

(注2) 不整合は生じていないものの、調査計画の改善を検討(予定)している事項がある場合はシート②で記載

## ② 統計の品質確保・向上を図るための統計作成プロセスの水準の段階的な向上の観点

業務マニュアル等の 整備・共有の状況 及び 実際の業務の実施状況 の確認等	<input type="checkbox"/> 課題なし  <input checked="" type="checkbox"/> 課題あり、見直し・改善を実施（予定含む）  <input type="checkbox"/> その他（例：課題精査中、課題はないが見直し・改善を実施（予定含む）等）
---	---

	見直し・改善の概要（自由記入）	見直し・改善の内容（左記の類型） （該当するものを選択、複数選択可能）	見直し・改善の対応方法・手段 （複数選択可能）	対応状況 （選択記入）
記入欄 No. 1	郵送調査の導入に伴う調査設計、調査事項等の変更について調査計画の変更承認済み。（令和5年11月）	<input type="radio"/> 調査計画の見直し・改善 業務マニュアル等の整備・充実・改善 品質の表示 変更管理の実施 遅延調査票への対応 外部委託先からの意見や改善提案の聴取 DXの実施、データのデジタル化 システムの要件・仕様の可視化 プロセス診断結果の取り込み その他プロセスの段階的な向上に向けた取組	<input type="radio"/> 調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備・充実 実施方法の見直し その他	対応済
記入欄 No. 2	令和6年2月までに業務マニュアルの見直し、令和7年3月までに集計プログラムの改修を実施予定	<input type="radio"/> 調査計画の見直し・改善 業務マニュアル等の整備・充実・改善 品質の表示 <input type="radio"/> 変更管理の実施 遅延調査票への対応 外部委託先からの意見や改善提案の聴取 DXの実施、データのデジタル化 システムの要件・仕様の可視化 プロセス診断結果の取り込み その他プロセスの段階的な向上に向けた取組	<input type="radio"/> 調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 <input type="radio"/> 業務マニュアルの整備・充実 実施方法の見直し <input type="radio"/> その他	対応中/対応予定

### ③ 必要な精度の確保・向上の観点

	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙也可)		
	精度管理の目安と している指標区分 ※該当するものを 選択(複数選択可)	目安としている指標の具体的な 設定内容・考え方等 (自由記入。別紙也可)	目安としている 指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は前々前回調査)
1 調査の実施目的を確保するための 精度管理の実施状況	○ 達成精度	個人経営体、団体経営体それぞれについて、 全国の漁業就業者数を指標として、目標精度 を1.9%に設定。	令和元年調査	令和4年調査 実績精度： 個人経営体 2.0% 団体経営体 2.0% (全体 1.6%)	令和3年調査 実績精度： 個人経営体 1.9% 団体経営体 1.9% (全体 1.4%)	令和2年調査 実績精度： 個人経営体 1.7% 団体経営体 1.7% (全体 1.3%)
	回収率・回答率					
	回収調査票数					
	カバレッジ					
	その他					
	設定なし					